

連載

29 在宅医療奮闘記

平成7年より
在宅を開始した

私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長

橋本 満義 (63歳・内科)

人の幸せとは (男と女の絆)



もう何年前のことになるでしょうか。ある日、ヘルパーさんから「橋本先生にしか頼めない話があります。ぜひ相談にのっていただきたいので、こちらに来ていただけませんか」といった内容の電話がありました。

待ち合わせ場所へ行ってみると、そこは豪華とはいえませんが居酒屋風のお店で、高齢者中心の皆さんが楽しそうに過ごされていました。

そのお店のママさんの誘導で店内を通り抜け、急な階段を上った一室に入ると、がん末期で寝たきり状態の40代の男性がいました。病状は重篤で黄疸と腹水貯留がみられ、高度機能病院に緊急入院が必要な状態でした。詳しく話を聞

いてみると、すでにかん専門医に治療を受けてはいるのですが、本人は苦痛の無い緩和ケアを受けながら現在の生活空間で過ごしたいと願っているとのこと。ママさんもそれは承知してはいるもののやはり医療面に不安があるようでした。

その後、在宅医療・介護サービスを開始しました。患者さんは腕の良い職人さんで、全国を飛び回って仕事をし、高給取りであったようです。ママさんとの馴れ初めなど深くは聞かないことにしましたが、お互いを信頼し合った大変仲の良いお二人でした。しばらくして病状が軽快したので、一時期、娘さんの豪邸で生活することもありましたが、やはり元の生活空間に戻られたの

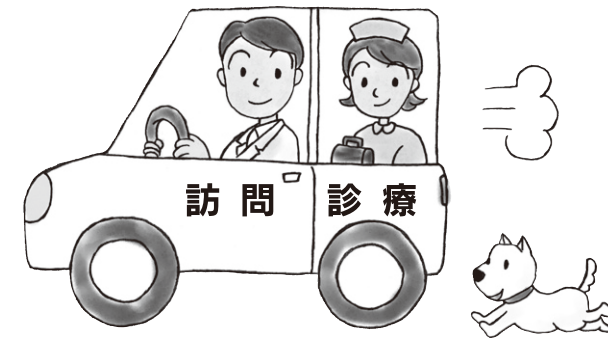
です。そして、その一番居心地の良い場所で、眠るように最期を迎えたのでした。また、彼には立派な心優しい娘さんがいらっしやったのです。

人生いろいろ……。

人生は素晴らしいものであります。

国策にて、在宅医療はますます重要になってきました。それとともに、クオリティオブライフ、ノーマライゼーションなど言葉は踊っていますが、時によっては、深く思いを巡らせる場面に会います。人間の心や本音の優しさに触れると、業務に携わる者も、真の尊厳や情念を感じずにはいられず、その仕事にやりがいを持つことができます。そして、私たちの人間性をも自然と磨くことができるようです。

「お医者さんが来てくれる」
質の高い在宅医療・看護・介護
を『千舟町クリニック』は目指しています。



機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 Tel:089-933-3788

<http://www.touzaikai.jp/>